

キャリアガイダンス	1年	後期	演習2単位	担当教員名	櫻井 正昭・千葉 剛・高橋 裕彦
	卒選	幼選			
授業のテーマ及び到達目標（学習成果） ① テーマ： 学生一人一人の個性と自己表現力を伸ばし、個の資質・適性にあった進路選択能力を高める ② 目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者の職務内容を理解すること。（3，7） ・ 社会人としての一般教養及び望ましい職業観を身につけること。（1，3，7） ・ 就職活動について理解すること。（3，7，8） ・ SPIやキャリア教育の知識を学び、専門職とは何かを理解すること。（3，7，8） 					
授業の概要 保育養成大学として、学生が将来の保育者としての自覚・資質を高めるために、保育の職務について理解を深める授業を主眼とする。さらに社会人としての一般教養および望ましい職業観を身につけ、個の資質・適性にあった進路、職業の選択能力を高めるための指導や支援を図る。					
授業計画					
コマ(回)	項目	内容			
1	オリエンテーション	・社会人について ・SPI（総合適性検査）について ・就職活動の流れ			
2	職業観	・働くことの意義			
3	自己分析とプレゼンテーション	・自己紹介（プレゼンテーション）			
4	ビジネス文書の基本	・ビジネス文書（メール） ・ビジネス文書（名刺の役割）			
5	履歴書の作成	・履歴書の基本について			
6		・履歴書の作成			
7	職業倫理	・職業倫理（専門職の倫理とコンプライアンスについて）			
8		・職業倫理（ハラスメントについて）			
9	保育者の職務	・保育士、幼稚園教諭の職務			
10		・福祉施設の職員の職務			
11	公務員の職務	・公務員の職務（法的位置づけ）			
12	キャリアプランニング	・キャリアプランについての概説 ・キャリアマップの作成			
13	就職活動について	・求人票の見方			
14	講話	・年金講話（外部講師による）			
15	就職活動発表会	・就職活動発表会（1，2年全体）			
定期試験	なし				
テキスト	教師自作のテキスト・資料				
参考図書	なし				
教員の評価方法	受講態度・演習参加（20%）、レポート（80%）の総合評価				
①準備学習等履修上の留意点 ②課題に対するフィードバックの方法等	①事前の課題、事後の復習に週1時間程度取り組む。 ②個別対応などでフィードバックをする。 ※2年次のキャリアガイダンスの指導は随時開催する。				
2年次就職指導	1	就職活動計画	・就職活動計画 ・履歴書の書き方		
	2	提出書類・面接対策	・求人票の見方 ・提出書類の準備・面接形態		
	3	県内保育関係就職説明会	・地域の幼稚園 ・保育園等の就職説明会、見学会		
	4	社会人基礎力講座	・実習後のギャップについて		
	5	専門ゼミナール（随時・課外）	特定分野に分かれたキャリア教育（ゼミナールは他の曜日にも実施される可能性がある。ゼミナール担任に確認すること。）		
	6	内定後にすべきこと	・内定後の指導について ・卒業前のキャリア教育		
	7	就職活動発表会	・就職活動の発表（1，2年合同）		

福祉活動	1・2年 前期・後期	演習1単位	担当教員名	千葉 剛 大塚 初美
	卒選 幼選 保選			
テーマ及び到達目標(学習成果) ① テーマ : 積極的なボランティア活動の体験 ② 目標 ・ 社会福祉事業について関心と理解を深める。(2・3・7) ・ 社会連帯意識に基づく社会参加の精神を身につける。(2・7・8) ・ 進んで社会福祉の向上に寄与しようとする態度を身につける。(2・3・5・7・8) ・ 福祉の精神を実践できる能力(ボランティア精神と実践力)を身につける。(2・3・5・7・8)				
科目の概要 この科目は、学生が主体的に地域社会に貢献し、活動を通して社会連帯の重要性や奉仕の精神を身につけることを目的とする。幼児から高齢者と年代の違う多くの人との出会いや障害者との触れ合いなどを通して、自己実現や人間的成長を図りながら、コミュニケーション力(人とのかかわり方)を高める大切な活動である。保育者を目指す学生にとっては有益で貴重な活動であるため、積極的にボランティア活動に参加し、2年間を通じて3種類以上の内容で、計30時間(10ポイント)以上の活動をするよう奨励している。				

予想される活動例

月	予想される事業名・主催団体	活動内容例	各種 ボ ラ ン テ ィ ア 自 主 参 加	
4	福祉活動ガイダンス パレットおおさき 校内除菌・緑化ボランティア	* 主な福祉・ボランティア活動協力団体を学生に紹介 * パレットフェスタ		
5	吉野作造記念館 シナプス40 月一ボランティア	* ゴールデンウィーク イベント * 不要本・CD交換会		
6	てとて	* 障害者と一緒に音楽を楽しむ会		
7, 8	大崎市社会福祉協議会 パレットおおさき おおさき青年会議所 古川商工会議所 シナプス40 大崎市, 美里町, 涌谷町教育委員会	* サマーチャレンジボランティア * パレット夏まつり * おおさき花火大会 * 古川まつり * 子ども駄菓子屋プロジェクト * 夏まつり * 夏休み学び支援		
9	まこと幼稚園	* 運動会		
10	大崎市社会福祉協議会 シナプス40 古川商工会議所青年部 大崎ハロウィンコスプレ実行委員会 大崎法人会 まこと幼稚園	* 赤い羽根街頭募金 * 子ども駄菓子屋プロジェクト * 古川秋まつり * ハロウィン・コスプレ交流会 * 大崎福祉夢まつり * お楽しみ会		
11	パレットおおさき	* パレット人形劇フェスティバル		
12	大崎市社会福祉協議会 吉野作造記念館 大崎市, 美里町, 涌谷町教育委員会	* 歳末助け合い街頭募金 * クリスマス会 * 冬休み学び支援		
1	大崎地方青年文化祭実行委員会	* ユースフェスティバル in おおさき		
	まこと幼稚園 障がい児者サポートセンターてとて パレットおおさき	* 預かり保育(通年) * 放課後デイサービス(通年) * 星を見る会・大人の天文塾(通年)		
教員の 評価方法	2年間の活動状況(90%)及びボランティア活動感想文(10%)で評価する。			
①準備学習等履修上の留意点 ②課題に対するフィードバックの方法等	①ボランティア掲示板の情報をたえず確認する。各自の活動状況は3時間で1ポイントとして表示する。 ②活動終了後は、活動証明書のレポートを記入する。提出時に必要な指導助言を行う。 ③レポートの反省点について、口頭で説明し学生同士での共有を図る。また、ボランティア活動状況を提示し活動を振り返らせる。			

児童館・放課後児童クラブの機能と運営	1年 前期	講義2単位	担当教員名	早坂 俊一郎
	選 択			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ： 児童館・放課後児童クラブの機能と運営について理解する。 ② 目 標 ・児童館・放課後児童クラブの機能を理解する。（3，7） ・児童館・放課後児童クラブの運営について理解する。（3，7）				
授業の概要 児童館・放課後児童クラブに通う子どもは、保護者が就労、疾病、介護等により昼間家庭に子どもや家庭での養育が困難な子どもである。したがって放課後児童クラブは、その子どもの放課後の健康管理、情緒の安定を図る役割を担うこと 児童厚生員は、子ども一人ひとりと集団の中での子どもたちの状況を把握して適切に支援する役割を担うこと				

授業計画

コマ(回)	項 目	内 容
1	オリエンテーション	・児童厚生員の現状や児童館・放課後児童クラブの現状についての理解させ興味・関心をもつようにさせる。
2	児童福祉法の理念と健全育成	・児童館の源流、児童福祉法の制定と健全育成の理念
3	健全育成の具体的な内容と遊びの意味	・子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境や発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、自主性、社会性及び創造性の向上を通じた育成支援について。
4	児童館・放課後児童クラブの変遷	・児童館に関連する行政改革の流れ、児童館を取り巻く状況
5	児童館・放課後児童クラブの概要と特性	・放課後児童クラブの概要と特性
6	児童館ガイドラインの内容と児童館に求められる機能①	・児童館の課題と「児童館ガイドライン」
7	児童館ガイドラインの内容と児童館に求められる機能②	・「児童館ガイドライン」の策定とねらい。「児童館ガイドライン」の改正
8	放課後児童クラブの基準	・放課後児童クラブの「根拠法令」「運営指針」「認定資格研修」
9	運営管理	・運営管理(法令順守、子どもの権利擁護、要望・苦情への対応 他)
10	安全対策	・安全対策(安全管理・危機管理、防災・防犯、事故防止活動 他)
11	環境構成	・児童館・放課後児童クラブの環境構成、地域の子育て環境づくり
12	障害児支援	・児童館・放課後児童クラブにおける配慮を要する児童への関わり
13	職場倫理	・児童厚生員の倫理
14	児童館・放課後児童クラブの課題と展望	・児童厚生員の役割
15	まとめ	・講義の振り返りと、課題の解決策
定期試験	有	
テキスト	「児童館論」【児童健全育成推進財団】	
参考図書	特になし	
教員の評価方法	受講態度(10%)、提出物(20%)、定期試験(70%)の総合で評価	
準備学習等履修上の留意点	授業前の準備＝前時に予告したテキストの熟読。授業後の指導＝毎時学習プリントを配布するので復習の励行 各1時間程度	

児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法Ⅰ	1年 後期	演習2単位	担当教員名	新沼 美佐子 (鈴木 永二)
	児童厚生員必修			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ : 児童館・放課後児童クラブの意義・目的を理解し、既習の教科内容との関連性を踏まえ、保育について総合的に学び、児童館・放課後児童クラブでの実践力を培う。 ② 目標 ・児童館実習の意義、目的、内容、実習記録、指導案の書き方を理解し、各自目標を持って実習ができるように課題を明確にする。(3, 4) ・子どもの発達過程を理解し、そのことを生かした、実習記録・指導案作成・子どもとのかかわりができる保育実践力を身につける。(3, 4, 5) ・児童厚生員の専門性と職業倫理についての理解を深める。(2, 3, 4)				
授業の概要 習得した教科内容の知識・技能を踏まえて児童館・放課後児童クラブの理論と実践について具体的に学習し、実習に向けて、児童厚生員としての実践力を身につけるようにする。				
授業計画				
コマ	項目	内容		
第1回	児童館実習指導の概要のオリエンテーション	・児童館実習の意義・目的の理解 ・DVD視聴 ・児童館実習のスケジュール(プロセス・日程等)		
第2回	児童館実習の概要1日(週・月・年)の流れと活動のねらい	・指導計画 ～長期の指導計画・短期の指導計画、日誌の書き方・記入の仕方～ ・子どもの発達過程の理解(児童館活動に関わるねらい及び内容)		
第3回	児童館・放課後児童クラブに遊びの環境構成	・子どもの遊びの理解と環境構成について理解する		
第4回	遊びを通じた支援の実際	・遊びのプログラム作り、具体的展開、支援法について理解する		
第5回	遊びを通じた児童の健全育成	・子どもとのかかわりで予想される子どもの活動・行動への対処のあり方等		
第6回	児童館・放課後児童クラブに於けるグループワーク	・児童館・放課後児童クラブに期待される機能や・役割を果たすための支援の方法や役割について考える		
第7回	児童館・放課後児童クラブに於けるケースワーク	・子どもが基本的な生活習慣を身につけ、身の周りの処理や生活時間のコントロールなど自己管理する能力を育てるためのケース会議		
第8回	小学生の仲間づくり・居場所づくり	・児童厚生員との関係や子ども同士の安定した人間関係構築の必要性、子ども一人ひとりが自分の居場所をもてるような環境の配慮		
第9回	子育て支援活動	・帰宅の状況についての確認。子ども自身が安全確保について学習することへの支援、保護者への協力の呼びかけや地域との連携		
第10回	ボランティアの育成・支援	・地域社会で活動できるようにするための取り組み		
第11回	生活・学習支援	・児童館・放課後児童クラブにおける生活・学習支援		
第12回	保護者・学校・地域との連携	・保護者や地域の子どもの大人と一緒に活動する機会の設定		
第13回	行事やイベントの企画立案	・子どもたちのニーズに基づいた行事やイベントの企画立案(演習)		
第14回	企画発表会、講評	・指導計画の発表と講評		
第15回	まとめ	・これまでの講義の内容を振り返り課題の洗い出し。課題解決の方策を考え		
定期試験	定期試験あり			
テキスト	健全育成論 (変更となる場合有り)			
参考図書	学習指導要領解説書、実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド 古櫃智子 わかば社			
教員の評価方法	学習への関心・態度、講義等の課題、定期テストから総合的に評価する。			
①準備学習等履修上の留意点 ②課題に対するフィードバックの方法等	①授業後の課題、次時の予習に1時間取り組む。 ②模擬保育の指導案の返却と模擬授業を通して評価反省を行う。			

児童館実習 I	1年 前期	形態	実習 2 単位	担当教員名	鈴木 永二 佐藤 憲治
	児童厚生員必修	単位数			
授業(実習)の到達目標及びテーマ					
<p>① テーマ : 児童館現場の実際に接し、子ども(利用者)の観察やかかわりを通して、子ども(利用者)への理解を深め、実習施設の役割や機能、児童厚生員の役割や職務内容を具体的に理解する。</p> <p>② 目標</p> <p>1 児童館・放課後児童クラブの現場で実際に業務を体験することで、児童館や放課後児童クラブの活動を理解するとともに、自分自身の適性を改めて見つめ直す(3, 4, 5, 6)</p> <p>2 講義で学んだ知識や技術を基礎として、児童館・放課後児童クラブの現場において実際に幼児、児童と触れ合う中で、幼児、児童の行動や考え方を具体的に把握すること、それを通して幼児・児童教育の理論と実践の関係について理解を深めること、さらに、個々の知識や技術を総合的に応用する実践能力を養うことを目的とする。(2, 5, 8)</p>					
授業(実習)の計画					
◎児童館実習 I・・・児童館実習 (2 単位) 2月下旬から3月の予定 10日間 (調整中)					
1 児童館職員の役割と職業倫理	・児童館職員の職務内容 ・職員間の連携と役割分担 ・児童館職員の職業倫理				
2 子どもの理解	・児童館の生活と一日の流れ ・発達の特徴を知る ・個人差があることを理解する				
3 集団の理解	・集団の理解 ・子どもとの関係を作る ・子どもの観察、記録による理解 ・子どもの発達過程の理解 ・子どもへの援助やかかわり				
4 関わり方の理解	・指導者の動きに沿いながら対応する ・活動の誘導、タイミングを学ぶ ・活動の計画、発達過程に応じた活動内容 ・子どもの生活・遊びと保育環境 ・子どもの健康と安全				
5 指導計画等の学習	・指導計画の理解と活用 ・記録に基づく省察・自己評価				
6 実習の遂行	・保育士の職務内容 ・職員間の役割分担や連携 ・保育士の役割と職業倫理 ・一日のある部分、特定の場面を担当する				
7 子どもへの関わり	・子ども(利用者)の観察、記録による理解 ・個々の状態に応じた援助やかかわり ・子どもの個性やニーズに応じた関わり ・集団を指導できる力を養う				
8 責任実習 I・II	・実際に実習生が主となり、子どもの指導を行う				
9 実習の振り返り	・実習を振り返り、課題を見つけるとともにその課題の解決策を考える				
テキスト	「保育実習の手引き」宮城県保育士養成校連絡協議会 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 学習指導要				
参考図書	実習日誌・実習指導案「パーフェクトガイド」わかば社				
教員の評価方法	各実習先の実習評価、各実習日誌等を基にして評価				
①準備学習等履修上の留意点 ②課題に対するフィードバックの方法等	<p>①各授業(実習)の準備、振り返りに1時間取り組む。</p> <p>②保育の計画・指導案等を返却し、評価反省を行う。</p> <p>③課題について、児童館実習訪問指導でフィードバックする。</p>				